

〈名画の扉〉

大川美術館から



「マーン・ヴァルマイン(悪霊の日)」

1893、94年、木版(後刷り)、
1921年、20・1センチ×35・1センチ

ポール・ゴーギャン (1848～1903年)

フランス人画家ポール・ゴーギャンは、近きまされていきます。画代文明を嫌い、1889年に南太平洋のタヒチ島に移住。1年後パリに帰り個展を開催、しかし評価は芳しいものではありませんでした。そこで、タヒチでの滞在記「ノア・ノア」の執筆をはじめ、それに自作の版画を加えることにしたのです。10点の木版画を制作、ここに紹介する作品はそのなかの一点です。

暗闇のなか火を囲みながら座って語りあうもの、踊るものなど、夜を過ごす人々の姿が

(田中)